
「逆襲」

熊谷有記

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「逆襲」

【Nコード】

N1357G

【作者名】

熊谷有記

【あらすじ】

才能なし金なし彼女なしのダメ男宮島は日々の生活に苦しんでいた。今のダメダメな生活から抜けだそうと考えていたが……

第一話「宮島という男」

「ああ金が欲しい」

才能もない。容姿も普通。

みやじまたかゆき
宮島隆幸はごく平凡なサラリーマンだ。29にもなつて彼女もいない。借金まみれの典型的な駄目男だった。

普段は酒の販売会社の社員として働く毎日。仕事が終わつた後や休日はパチンコや競馬、雀荘通いなどギャンブル漬けだった。借金ももうすぐ300万にとどこうかという所まで膨らんでいた。

「くそっ…また負けた」

宮島は今日もパチンコで負けイライラしていた。

「何か…何か今の状況を打開する方法はないものか…でも俺何も才能とか長所も本当にないしな。一つくらいあつてもいいよな」

ブツブツいいながら新宿の街を歩いていた。周りを見ると仲のよさそうなカップルばかりだ。

「こんな公共の場でイチヤイチャすんなやボケがっ」

宮島は道に置いてある喫煙者用の灰皿を思い切り蹴った。

「ガンッ」という大きな音がしたがカップル達は全く気にする様子

もなぐズタズタしている。

「ただいま」

家についた宮島は誰もいない自分の部屋にそう言いながら入り込んだ。7畳くらいある上に家賃は5万となかなかの部屋である。

宮島は趣味が何もないので部屋にも何も置いていない。テーブルが一つと布団が敷いてあるだけの寂しい部屋だ。

そんな部屋で冷蔵庫一杯に入ったキリンラガーの瓶ビールを1、2本開けながら考え事をするのが彼の一日の楽しみだった。

しかし今日は特に荒れていた。まだ帰って一時間弱しか経っていないのに、もうビールを瓶三本も空けていた。

「…変化…今のままじゃだめだ。何か変えないと。しかし俺には女がキヤーキヤー言う程の容姿もなければ使いどころに困る程の金もない。何かきっかけさえあれば…」

いつも自分から何をするわけでもなく、ただ愚痴をもらすだけなので変わりようもない。しかしなぜか今日に限って無性に何かある気がしていた。そのため落ち着かなくなり、アルコールの摂取量も増えていった。もうビールも5本目だ。

「ふう。しかしどうして世の中こんななっちまったんだ？今やキヤーキヤー言われる男、つまりイケメンと呼ばれる奴らってみんな髪の毛ツンツンのホスト顔の事だろ？…まあそんなのばかり好きになる女も女だけどなあ。やっとガングロギヤルがいなくなっと思いきや今やキヤバ嬢みたいな奴ばっか…そんな奴らに限って金持ちてるし……」

宮島の言う事の半分は愚痴やヒガミばかりだが、もう半分はもっともな事だった。

宮島は疑問を抱いていた

自分は今のように毎日必死こいてこき使われて働いてようやく今の生活ができています。

しかし、ちよつと才能があったり容姿が良かったりするだけで稼ぎや世の中の扱いが違いすぎるんじゃないかと…

そのちよつとの差が大きすぎる…

必死こいて勉強してまあまあの大学行ったのにこれか？

「いわゆる負け組だな…」

そんな事を考えたら泣けてきた…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1357g/>

「逆襲」

2010年10月28日08時19分発行